



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ASNOVA

上場取引所

東・名

コード番号 9223

URL <http://www.asnova.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 上田 桂司

問合せ先責任者（役職名） 取締役

（氏名） 加藤 大介

TEL 052-589-1848

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日

2025年12月1日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		償却前 営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	2,221	12.8	907	6.3	△93	—	△161	—	△159	—
2025年3月期中間期	1,969	15.3	853	10.0	△17	—	△5	—	△25	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △149百万円（—％） 2025年3月期中間期 3百万円（△94.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△12.83	—
2025年3月期中間期	△2.03	—

（注）1. 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却費を足し戻して算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	12,733	2,817	22.1
2025年3月期	12,958	2,979	23.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 2,817百万円 2025年3月期 2,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	1.00	—	1.00	2.00
2026年3月期	—	1.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	1.00	2.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		償却前 営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	5,265	23.4	2,453	31.5	405	731.3	266	485.2	101	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) Qool Enviro Pte.Ltd. 、除外 1社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	12,438,400株	2025年3月期	12,438,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	548株	2025年3月期	548株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	12,437,852株	2025年3月期中間期	12,437,852株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(中間連結損益計算書)	6
(中間連結包括利益計算書)	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(表示方法の変更)	9
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得関係の改善やインバウンド需要の拡大等により緩やかな回復基調が続きました。一方、人材不足や地政学的リスクに伴う原材料及び燃料価格の世界的な高騰、円安による影響等、景気の下振れが懸念されるなど先行きは不透明な状況が続いております。また、当社グループの業績に影響を与える国内建設業界におきましては、民間事業による住宅関連の需要が停滞しましたが、公共投資は堅調に推移しました。しかしながら、就業者数が年々減少していることに加え、業界全体の多くを占める高齢技能者が数年後の引退を控えており、慢性的な人手不足の問題や建設資材の価格の高止まりが深刻化しており、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、仮設機材のレンタルから販売に至るまでワンストップで行えるサービスの強みを活かし、引き続き顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。当社グループが扱う仮設機材価格は引き続き高騰しており、仮設機材レンタルの需要は引き続き高位に推移しております。当中間連結会計期間においては2025年4月にQool Enviro Pte.Ltd.の全株式を取得することで当社の連結子会社となり、売上高の増加に寄与いたしました。また、2025年9月に福島県本宮市に新規機材センターを開設いたしました。以上の結果、売上高2,221百万円(前年同期比12.8%増)、営業損失93百万円(前年同期は営業損失17百万円)、経常損失161百万円(前年同期は経常損失5百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失159百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失25百万円)となりました。

なお、当中間連結会計期間より、Qool Enviro Pte.Ltd.を連結子会社化したことに伴い、報告セグメントを従来の「レンタル関連事業」の単一セグメントから、「国内足場レンタル事業」、「海外足場レンタル事業」、「海外その他レンタル事業」の3区分に変更しております。詳細は「第4 経理の状況 1 中間連結財務諸表 注記事項 (セグメント情報等)」に記載の通りであります。

セグメントごとの状況は以下の通りです。

(国内足場レンタル事業)

国内足場レンタル事業は、日本国内における仮設機材のレンタル及び販売を行っております。

当中間連結会計期間の業績は、売上高は1,954百万円(前年同期比7.2%減)、セグメント利益は299百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

(海外足場レンタル事業)

海外足場レンタル事業は、日本国外における仮設機材のレンタル及び販売を行っております。

当中間連結会計期間の業績は、売上高は8百万円(前年同期比73.6%減)、セグメント損失は83百万円(前年同期はセグメント損失48百万円)となりました。

(海外その他レンタル事業)

海外その他レンタル事業は、日本国外における仮設機材以外のレンタルを行っております。

当中間連結会計期間の業績は、売上高は258百万円、セグメント利益は19百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、12,733百万円となり、前連結会計年度末と比べ225百万円減少いたしました。この主な要因は、Qool Enviro Pte.Ltd.の株式取得に伴う資産受入による増加1,375百万円、のれんの計上による増加958百万円、またQool Enviro Pte.Ltd.の株式取得等による現金及び預金の減少1,738百万円、賃貸資産の減少680百万円等によるものであります。

負債合計は、9,916百万円となり、前連結会計年度末と比べ63百万円減少いたしました。この主な要因は、Qool Enviro Pte.Ltd.の株式取得に伴う負債受入による増加594百万円、一年内返済予定を含む長期借入金の増加790百万円及び株式取得のために調達した資金の借換等に係る短期借入の返済による減少1,400百万円があったことなどによるものであります。

純資産合計は、2,817百万円となり、前連結会計年度末と比べ161百万円減少いたしました。親会社株主に帰属する中間純損失159百万円の計上、剰余金の配当12百万円の実施により利益剰余金が172百万円減少したことなどによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,182,773	1,444,281
受取手形及び売掛金	640,311	841,134
商品	143,558	199,601
その他	220,221	261,107
貸倒引当金	△205	△4,419
流動資産合計	4,186,659	2,741,706
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	5,088,909	4,408,668
土地	2,698,897	2,709,225
その他(純額)	732,361	1,373,064
有形固定資産合計	8,520,167	8,490,957
無形固定資産		
のれん	—	948,215
その他	44,374	362,332
無形固定資産合計	44,374	1,310,548
投資その他の資産		
その他	237,616	217,114
貸倒引当金	△29,878	△26,723
投資その他の資産合計	207,738	190,391
固定資産合計	8,772,280	9,991,896
資産合計	12,958,939	12,733,603

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,978	111,749
短期借入金	2,200,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	2,091,058	2,414,410
未払法人税等	51,253	58,115
その他	234,761	640,815
流動負債合計	4,631,051	4,025,089
固定負債		
長期借入金	5,308,718	5,776,081
その他	40,098	115,335
固定負債合計	5,348,816	5,891,416
負債合計	9,979,868	9,916,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	247,477	247,477
資本剰余金	466,128	466,128
利益剰余金	2,275,221	2,103,191
自己株式	△126	△126
株主資本合計	2,988,701	2,816,671
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,629	425
その他の包括利益累計額合計	△9,629	425
純資産合計	2,979,071	2,817,096
負債純資産合計	12,958,939	12,733,603

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,969,968	2,221,788
売上原価	1,596,633	1,719,928
売上総利益	373,335	501,860
販売費及び一般管理費	390,863	595,067
営業損失(△)	△17,527	△93,207
営業外収益		
足場資材売却益	8,805	—
固定資産売却益	—	3,934
その他	29,362	10,921
営業外収益合計	38,167	14,856
営業外費用		
支払利息	17,026	48,928
その他	8,990	33,801
営業外費用合計	26,017	82,730
経常損失(△)	△5,378	△161,081
税金等調整前中間純損失(△)	△5,378	△161,081
法人税、住民税及び事業税	23,406	15,340
法人税等調整額	△3,485	△16,829
法人税等合計	19,920	△1,489
中間純損失(△)	△25,298	△159,592
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△25,298	△159,592

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△25,298	△159,592
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	28,325	10,054
その他の包括利益合計	28,325	10,054
中間包括利益	3,026	△149,537
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,026	△149,537
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△5,378	△161,081
減価償却費	870,172	976,729
のれん償却額	—	23,799
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,209	24,194
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,966	△2,497
支払利息	17,026	48,928
有形固定資産売却損益(△は益)	—	6,738
売上債権の増減額(△は増加)	△6,273	△22,473
棚卸資産の増減額(△は増加)	△104,285	△49,893
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,340	815
その他	△227,813	△24,273
小計	524,284	820,986
利息及び配当金の受取額	71	2,474
利息の支払額	△13,443	△41,891
法人税等の支払額	△117,750	△55,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,162	725,811
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,891,652	△294,556
有形固定資産の売却による収入	8,805	16,728
無形固定資産の取得による支出	△560	△511
貸付金の回収による収入	—	1,214
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,457,505
その他	△445	△5,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,883,852	△1,740,424
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△1,400,000
長期借入れによる収入	2,700,000	1,898,190
長期借入金の返済による支出	△851,831	△1,204,183
配当金の支払額	△12,437	△12,437
その他	△5,203	81
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,830,527	△718,348
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,325	△5,530
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	368,162	△1,738,491
現金及び現金同等物の期首残高	937,900	3,182,773
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,306,062	1,444,281

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前中間連結会計期間において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「受取手数料」、「受取保険金」、「スクラップ売却益」は金額的重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間においては「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。これらの表示方法の変更を反映させるため、前連結中間会計期間の中間連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「受取手数料」300千円、「受取保険金」22,081千円、「スクラップ売却益」2,142千円及び「その他」4,837千円は、「その他」29,362千円として組み替えております。

前中間連結会計期間において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「固定資産除却損」は金額的重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間においては「営業外費用」の「その他」に含めて表示しております。これらの表示方法の変更を反映させるため、前連結中間会計期間の中間連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間損益計算書において、「営業外費用」に表示していた「固定資産除却損」8,450千円及び「その他」540千円は、「その他」8,990千円として組み替えております。

(追加情報)

(株式取得による会社等の買収)

当社は、2025年3月17日開催の取締役会において、Qool Enviro Pte.Ltd. (以下、Qool社) の全株式を取得し子会社化することについて決議し、2025年4月1日付で全株式の取得を完了いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	Qool Enviro Pte.Ltd.
事業の内容	仮設トイレのレンタル、衛生関連ソリューションサービス

② 企業結合を行った主な理由

当社の主要事業である足場レンタル事業は、翌連結会計年度以降も需要が旺盛であると見込んでおります。しかしながら、1つの事業のみを継続・深化することは、中長期的な観点からはリスクが伴うことから、足場レンタル事業を安定的な事業基盤としながらも、周辺事業や新市場に進出することで、「非連続な成長の実現」を目指すことが、当社の持続的な企業価値の向上には不可欠であると認識しております。また、上記の周辺事業や新市場への進出に際しましては、海外への展開も視野に入れております。特に、ASEAN諸国は今後急成長が見込まれており、既にベトナム社会主義共和国には子会社(ASNOVA VIETNAM CO.,LTD)を設立し、事業をベトナム各地で展開中です。今後の成長のため、ASEAN諸国は事業展開の強化が不可欠なエリアであると認識しております。上記のとおり、今後の事業展開方針を踏まえまして、この度、Qool社の株式を取得し子会社化するため、株式譲渡契約を締結することを決議いたしました。Qool社は、ASEAN諸国のハブとして最適な立地であるシンガポールにおいて、仮設トイレのレンタル及び衛生関連ソリューションサービスを展開している企業です。Qool社による仮設トイレのレンタル業は、当社の足場のレンタル業の知見・経験を活用することが可能であるとともに、安定的な事業運営が可能であり、収益性も非常に高くなっております。また、シンガポールは今後高齢化により事業承継が増加することが予想されており、現地で積極的なM&A活動の足掛かりにしたいと考えております。当社は、2030年のありたい姿として、「足場レンタル事業が確固たる収益基盤となり新規事業が成長エンジンとして一層の収益拡大を牽引する高収益のグローバルな循環型ビジネスのエクセレントカンパニーでありたい」を掲げております。シンガポールで事業を展開するQool社を子会社化することは、当社が目指していきたい方向性に大きく資することが見込まれることから、Qool社の株式を取得することを決定した次第です。今後も当社はパーパスである「『カセット』の力で、社会に明日の場を創り出す。」を軸として、持続的な成長を目指してまいります。

③ 企業結合日

2025年4月1日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得する議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得するためであります。

(2) 中間連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

Qool社の決算日は12月31日であり、連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、2025年4月1日から2025年6月30日までの業績を含んでおります。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	2,013,390千円
取得原価		2,013,390千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

仲介手数料等 131,714千円

(5) 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

958,349千円

② 発生原因

取得原価が受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その差額をのれんとして計上しております。なお、当中間連結会計期間末において取得原価の配分は完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(6) のれん以外の無形固定資産に配分された金額及びその種類別の償却期間

種類	金額	償却期間
顧客関連資産	329,301千円	10年
合計	329,301千円	10年

(7) 取得原価の配分

当中間連結会計期間末において資産及び負債の公正価値を精査しており、取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

(8) 企業結合が中間連結会計期間の開始の日に完了したと仮定した場合の当中間連結会計期間の中間連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

影響の概算額については、合理的な算定が困難であるため記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	国内足場 レンタル	海外足場 レンタル	海外その他 レンタル	計		
売上高						
レンタル	1,630,884	29,387	—	1,660,272	—	1,660,272
販売	248,356	2,950	—	251,307	—	251,307
工事	44,137	—	—	44,137	—	44,137
顧客との契約から 生じる収益	1,923,379	32,338	—	1,955,717	—	1,955,717
その他の収益	14,251	—	—	14,251	—	14,251
外部顧客への売上高	1,937,630	32,338	—	1,969,968	—	1,969,968
セグメント間の 内部売上高又は振替額	168,919	—	—	168,919	△168,919	—
計	2,106,549	32,338	—	2,138,887	△168,919	1,969,968
セグメント利益 又は損失(△)	309,309	△48,709	—	260,600	△278,128	△17,527

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間の取引消去及び各報告セグメントに配分していない
全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	国内足場 レンタル	海外足場 レンタル	海外その他 レンタル	計		
売上高						
レンタル	1,710,851	8,433	258,675	1,977,960	—	1,977,960
販売	228,394	113	—	228,508	—	228,508
顧客との契約から 生じる収益	1,939,246	8,547	258,675	2,206,468	—	2,206,468
その他の収益	15,320	—	—	15,320	—	15,320
外部顧客への売上高	1,954,566	8,547	258,675	2,221,788	—	2,221,788
セグメント間の 内部売上高又は振替額	—	—	—	—	—	—
計	1,954,566	8,547	258,675	2,221,788	—	2,221,788
セグメント利益 又は損失(△)	299,323	△83,924	19,674	235,073	△328,280	△93,207

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当中間連結会計期間において、Qool Enviro Pte.Ltd.の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、新たに報告セグメントに追加された「海外その他レンタル事業」の資産は1,453,290千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、Qool Enviro Pte.Ltd.を連結子会社化したことに伴い、報告セグメントを従来の「レンタル関連事業」の単一セグメントから、「国内足場レンタル事業」、「海外足場レンタル事業」、「海外その他レンタル事業」の3区分に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、Qool Enviro Pte.Ltd.の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「海外その他レンタル事業」において、のれん958,349千円が発生しております。なお、のれんの金額は当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。